

2025 年度  
事業報告書

自 2025 年 4 月 1 日  
至 2026 年 3 月 31 日

公益財団法人 自動車リサイクル高度化財団

東京都港区新橋六丁目 19 番 19 号  
アSEND新橋2階

## 1. 事業の概況

当財団は、自動車リサイクルの高度化等に資する学術的・実践的調査・研究の推進及び助成を通じて、地球環境の保全及び循環型社会の推進に寄与することを目的として 2017 年 3 月に設立され、同年 11 月に公益認定を受けた。2025 年度は第 10 期にあたり、公益法人としての使命に基づき、公益目的事業を申請書記載の内容に基づき着実に実施した。

### (1) 事業運営の全体像

当財団は、公益目的事業として、技術開発・調査研究の推進、周知・普及に資する活動、及び、解体・リサイクルの安全確保に資する取組を実施し、自動車リサイクルの高度化に総合的に取り組んでいる。これらの事業は、有用資源の回収・再資源化の促進、温室効果ガス排出削減、安全なリサイクル体制の構築を通じて、不特定多数の者の利益の増進に寄与するものとして実施した。また、事業は公募による応募機会の確保、外部有識者を含む委員会による審査、利害関係者の排除等を通じて公益性の確保に努めた。また、助成対象者及び事業内容についてはホームページ等により公表し、外部からの問い合わせにも対応するなど、事業の透明性確保に努めた。

### (2) 助成事業の実施

公募型助成事業については、2023 年度、2024 年度、及び 2025 年度に採択した計 5 件の事業について進捗管理を適切に行うとともに、2026 年度公募では応募 9 件の中から 1 件を採択した。

これらの事業の成果は、自動車リサイクルの高度化に資するとともに、資源循環の促進及び温室効果ガス排出削減に寄与するものであり、公益目的事業として高い意義を有する。

事業名		FY2023	FY2024	FY2025	FY2026	FY2027	FY2028
公募事業	EV の電池循環を支援する価値顕在化・流通システムの構築	●	●	●			
	資源回収インセンティブ実装検討事業		●	●			
	自動車ガラスを対象とする板ガラス向け再生原料基準の制定及び品質管理実証		●	●			
	自動車リサイクルにおけるアルミニウムの低炭素型 CE 実証		●	●			
	自動車再生樹脂グレード開発およびリサイクルシステム構築実証			●	●	●	
	黒色プラスチック選別用照明の LED 化と ASR リサイクル検証				●	●	●

#### [2023 年度 自動車リサイクルの高度化等に資する事業]

##### 2023 年度事業 実施概要

- ・公募期間:2022 年 11 月 18 日～2022 年 12 月 28 日
- ・選考実施日:2023 年 3 月 7 日
- ・採択/応募件数:1/3 件

#### ◇ EV の電池循環を支援する価値顕在化・流通システムの構築

代表事業者:カウラ 株式会社

共同事業者:株式会社 アクト、株式会社 日本総合研究所、国立大学法人 東京大学

事業概要:EV 電池の循環市場バリューチェーンを構築するために、電池価値顕在化の

ための計測診断と CO2 管理を効率化する AI/IoT アプリケーション、及び、多数の主体が電池価値を取引可能な流通プラットフォームを開発する。  
成果:3か年の最終年度として、AI/IoTを活用した電池性能取得アプリケーション及び価値流通プラットフォームの開発を完了。VC(Verifiable Credentials)による情報の信頼性を確保し、解体・リユース業界が参入可能な市場基盤の検証を行った。

所要経費 2026 年 3 月支払額: ¥61,682,102

#### [2024 年度 自動車リサイクルの高度化等に資する事業]

##### 2024 年度事業 実施概要

- ・公募期間:2023 年 11 月 17 日～2023 年 12 月 28 日
- ・選考実施日:2024 年 3 月 14 日
- ・採択/応募件数:5/7 件

#### ◇ 資源回収インセンティブ実装検討事業

代表事業者:一般社団法人日本自動車リサイクル機構

共同事業者:株式会社エコアール、協和産業株式会社、いその株式会社

株式会社ヒラキン、株式会社矢野経済研究所

事業概要:本事業では各コンソーシアムにおいて、実際に PP 樹脂部品回収、異物除去、破碎、輸送、検収等の作業を行い、JARS への登録を想定した管理を行うことで、解体・中間加工・破碎・電炉・再生材事業者・商社等の実務に基づいた工程別管理・実作業内容集を作成することが可能となる。また小規模トライアルにより、机上では想定しえなかった課題等の洗い出しにも繋がる。

成果:2026 年 4 月開始の「資源回収インセンティブ制度」に向け、解体業者向けの実務手引書を作成し、全国 15 回の説明会(のべ 426 社参加)を通じて制度の周知とコンソーシアム形成の支援を行った。

所要経費 2026 年 3 月支払額: ¥36,178,666

#### ◇ 自動車ガラスを対象とする板ガラス向け再生原料基準の制定及び品質管理実証

代表事業者:三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社

共同事業者:一般社団法人板硝子協会

事業概要:ガラス繊維より大規模な再資源化を期待できる板ガラス(自動車、建築等)向けのカレット回収を念頭におき、再生原料に求められる品質基準・解体ガイドラインを具体化することで、ASR 発生抑制に貢献することを目指す。

成果:建築用板ガラス原料として利用可能な品質基準と回収ガイドラインを策定。サイドガラスに加え、一部フロントガラスも適切な治具による解体・選別により板ガラス原料として利用可能であることを実証した。

所要経費 2026 年 3 月支払額: ¥23,440,246

◇ 自動車リサイクルにおけるアルミニウムの低炭素型 CE 実証

代表事業者:株式会社アビヅ

共同事業者:株式会社 UACJ、株式会社矢野経済研究所

事業概要:自動車分野では展伸材 to 展伸材のリサイクルはほとんど事例がなく、自動車用展伸材はほとんどが新地金 100%で製造されている。回収されたアルミを合金種ごとに選別できれば、二次合金製造工程を経ずに、各種アルミ部品の製造原料へとダイレクトにリサイクルすることが可能となる。自動車部品としての活用が可能な展伸材 to 展伸材の水平リサイクル実現を目指す。そのため、まずは展伸材(冷延板材)のダイレクトリサイクルシステムの確立を目指す。

成果:XRT・LIBS 選別装置により、シュレッダー後のアルミを合金種(5000系、6000系等)ごとに選別し、JIS規格に適合する再生アルミの回収に成功し、展伸材 to 展伸材の水平リサイクル実現に向けた技術的課題を解決した。

所要経費 2026年3月支払額: **¥27,718,476**

**[2025年度 自動車リサイクルの高度化等に資する事業]**

2025年度事業 実施概要

- ・公募期間:2024年11月15日～2024年12月25日
- ・選考実施日:2024年3月12日
- ・採択/応募件数:1/2件

◇ 自動車再生樹脂グレード開発およびリサイクルシステム構築実証

代表事業者:資源循環システムズ株式会社

共同事業者:大栄環境株式会社、株式会社八木熊、学校法人福岡大学、株式会社ニフコ、BIPROGY 株式会社

事業概要:廃棄物処理・コンパウンダー・大学・自動車部品メーカー・IT企業が連携し、(a)用途別分類・効率的収集、(b)高度改質・品質保証、(c)再生樹脂混合比率最大化、(d)品質管理とサプライチェーン全体を支えるデジタル基盤整備に取り組むことで、自動車向け再生樹脂の量産化への道筋をつける。

成果:建設系プラスチック(プラダン)由来の再生樹脂を 25wt%配合し、JAMA(日本自動車工業会)の物性目標値を達成したクリップ等の自動車部品の試作に成功。また、配合シミュレータの基盤構築とトレーサビリティシステムの実装を並行して進め、量産化に向けた技術的・デジタル的基盤を確立した。

所要経費 2026年3月支払額: **¥111,303,425**

**[2026年度 自動車リサイクルの高度化等に資する事業]**

2026年度事業 実施概要

- ・公募期間:2025年11月17日～2025年12月22日
- ・選考実施日:2025年3月11日
- ・採択/応募件数:1/9件

◇ 黒色プラスチック選別用照明の LED 化と ASR リサイクル検証

代表事業者: 浜松ホトニクス株式会社

共同事業者: ダイオーエンジニアリング株式会社

事業概要: 低発熱中赤外 LED ライン照明ユニットを開発し、自動車由来の黒色プラスチック選別の安全性向上について取り組む。選別機に実装し選別評価する事で ASR リサイクルの課題抽出を行い、自動車向け再生材利用促進を目指す。

(3) 自主事業の実施

自主事業として、以下の取組を実施した。これらの取組は、リサイクル現場における安全性向上及び制度設計の高度化に資するものであり、広く業界全体及び社会に対する公益的効果を有する。

	事業名	FY2024	FY2025	FY2026	FY2027
自主事業	解体事業者における異常電池の適正処理実証	●	●	●	
	解体業者実態調査事業		●	●	
	モーター磁石リサイクル実証事業		●	●	●

[2024 年度 自主事業]

◇ 解体事業者における異常電池の適正処理実証

業務委託業者: 株式会社マテック

契約形態: 随意契約

事業概要: 解体事業者での異常電池の ELV からの取り外し、塩水放電処理、保管方法、輸送荷姿等について、安全性等の実証とマニュアルを作成し、今後発生量増加が見込まれる異常電池の解体事業者での安全な輸送・処置・保管に寄与する。

成果: LiB (リチウムイオン電池) 搭載車の事故・災害時における安全な保管・失活方法 (塩水放電等) を検証。2026 年度に公開予定の「適正処理マニュアル」および「マニュアル動画」の素案を作成した。

所要経費 2026 年 3 月支払額: **¥63,393,920**

[2025 年度 自主事業]

◇ 解体業者実態調査事業

業務委託業者: 株式会社矢野経済研究所

契約形態: 随意契約

事業概要: 全国の解体業保有業者 約 4,000 社を調査対象としアンケートを実施。外資系事業者も含めた解体業界の実態を調査することで、今後の事業推進のベースデータを収集し、各種実証の有効な推進に寄与する。

成果: 約 3,300 社の解体業者を対象にアンケート調査を実施。近年増加している外国人事業者の事業実態や、中古車輸出の増大に伴う ELV (使用済自動車) 流通の変化を定量的に把握し、今後の施策立案のためのベースデータを収集作成した。

所要経費 2026 年 3 月支払額: **¥17,457,317**

◇ モーター磁石リサイクル実証事業

業務委託業者:三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング株式会社

契約形態:指名競争入札

事業概要:電気自動車の普及に伴い、国内リサイクル体制整備の必要性から、廃モーター発生量が少ない現段階からの、リサイクル技術・工程の検討とコスト低減に向けた課題整理を実施し、国内における「磁石 to 磁石」リサイクルの実現を目指す。

成果:国内外のモーターリサイクル市場規模を推計し、将来的なネオジム磁石の発生ポテンシャルを可視化。また、消磁技術や選別工程の検討を行い、効率的な「磁石 to 磁石」リサイクルの実証計画を策定した。

所要経費 2026 年 3 月支払額: **¥8,802,438**

## 2. 財務の状況

公益目的事業の適正な実施に必要な収益及び費用の管理を行い、安定的な事業運営を維持した。

### (1) 正味財産増減の状況

	2025 年度	2024 年度	増減
経常収益合計	448,134 千円	810,813 千円	△362,679 千円
経常費用合計	448,134 千円	810,813 千円	△362,679 千円
当期経常増減額	- 千円	- 千円	- 千円
資産合計	8,841,358 千円	9,520,407 千円	△679,048 千円
負債合計	326,915 千円	686,845 千円	△359,930 千円
正味財産	8,514,442 千円	8,833,561 千円	△319,118 千円

### (2) 寄附の状況

2025 年度(2026 年 3 月期)において、本田技研工業株式会社より 88,000,000 円の寄附を受理した。

### 3. 法人管理とガバナンスの充実

当財団は、自律的なガバナンスの確保及び運営の透明性向上を図るため、公益法人として求められる体制整備と実効性確保に継続的に取り組んでいる。

#### (1) 運営体制の充実を図るための取組

公益法人としての説明責任及びガバナンスの強化を図るため、以下の取組を実施した。

##### ① 内部監査の実施

2025 年度において内部監査を実施し、事業運営及び業務執行の適正性について検証を行った。その結果を踏まえ、業務プロセスの見直し及び内部統制の強化を推進するとともに、定款及び関係規程類の見直し・改定を行い、ガバナンスの実効性向上を図った。

##### ② 委員会運営の適正性確保

助成事業の採択にあたっては、大学教授、消費者団体、自動車メーカー等の有識者で構成される選考委員会により、公正かつ透明な審査を実施した。

#### (2) 評議員会、理事会の開催状況

2025 年度は、定時評議員会(1 回)及び通常理事会(3 回)、臨時理事会(1 回)を開催し、事業計画の承認、役員の選任、定款の変更等について審議・決議を行った。

##### ① 評議員会

通算回数・開催日	議 事 事 項
第 11 回評議員会 2025 年 6 月 26 日(木)	[決議事項] 第 1 号議案 2024 年度 事業報告について ⇒全員一致で承認 第 2 号議案 2024 年度 決算報告について ⇒全員一致で承認 第 3 号議案 理事の選任について ⇒全員一致で承認 第 4 号議案 定款の変更について ⇒全員一致で承認 [報告事項] 1. 2025 年度自動車リサイクル高度化助成事業採択の報告 2. 監事退任について 3. 資金運用実績等報告

② 理事会

通算回数・開催日	議 事 事 項
<p>第 33 回理事会 2025 年 6 月 4 日(水)</p>	<p>[決議事項]            第 1 号議案 2024 年度 事業報告について            ⇒全員一致で承認            第 2 号議案 2024 年度 決算報告について            ⇒全員一致で承認            第 3 号議案 第 11 回定時評議員会の開催及び議案について            ⇒全員一致で承認            第 4 号議案 理事の候補者選任について            ⇒全員一致で承認            第 5 号議案 選考委員会委員及び業務委託委員会委員の選任について            ⇒全員一致で承認            第 6 号議案 定款の変更について            ⇒全員一致で承認            第 7 号議案 資金運用規定の改定について            ⇒全員一致で承認            [報告事項]            1.資金運用実績等報告            2.自主事業採択について            3.連絡事項その他</p>
<p>臨時理事会 2025 年 7 月 1 日(月) (書面)</p>	<p>[決議事項]            第 1 号議案 自主事業「モーター磁石リサイクル実証事業」採択の件            ⇒全員一致で承認            第 2 号議案 自主事業「解体業者実態調査事業」採択の件            ⇒全員一致で承認</p>
<p>第 34 回理事会 2025 年 10 月 29 日 (水)</p>	<p>[決議事項]            第 1 号議案 2026 年度 事業計画について            ⇒全員一致で承認            第 2 号議案 2025 年度 下半期資金運用について            ⇒全員一致で承認            第 3 号議案 2025 年度 会計監査人の報酬について            ⇒全員一致で承認            第 4 号議案 内部監査結果報告及び諸規程の改定について            ⇒全員一致で承認            第 5 号議案 自動車リサイクルの高度化等に資する事業実施における            運営支援等業務の入札実施について            ⇒全員一致で承認</p>

	<p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 代表理事および業務執行理事の業務執行報告</li> <li>2. 2024年度公募および自主事業に係る事業報告会のご報告</li> <li>3. 連絡事項その他</li> </ol>
<p>第35回理事会 2026年3月23日(月)</p>	<p>[決議事項]</p> <p>第1号議案 2026年度事業計画について ⇒全員一致で承認</p> <p>第2号議案 2026年度収支予算について ⇒全員一致で承認</p> <p>第3号議案 公益目的事業の内閣府提出について ⇒全員一致で承認</p> <p>第4号議案 資金運用について ⇒全員一致で承認</p> <p>第5号議案 2026年度公募事業採択の件 ⇒2025年度公募事業の継続(継続不可1件)は、選考委員会で再審議のうえ、改めて臨時理事会(書面)にて提案することとした。</p> <p>第6号議案 自主事業計画変更承認の件 ⇒全員一致で承認</p> <p>第7号議案 JFARの今後の方向性について ⇒全員一致で承認</p> <p>第8号議案 役員賠償責任保険継続加入について ⇒全員一致で承認</p> <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事業実施における運営支援等業務の入札実施結果について</li> <li>2. 情報セキュリティ制定について</li> <li>3. 代表理事および業務執行理事の業務執行報告</li> <li>4. 連絡事項その他</li> </ol>

## 4. 法人の概要

### (1) 主な事業内容

- ① 自動車リサイクルの高度化等に関する学術的・実践的調査・研究の推進及び助成事業
- ② 消費者団体等の自動車リサイクルに関する周知活動支援事業
- ③ その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

### (2) 事業所

東京都港区新橋六丁目 19 番 19 号 アセンド新橋 2 階

### (3) 役員等に関する事項

#### ① 理事及び監事の氏名等

(2026 年 3 月現在)

氏名	当法人における地位	担当または主な職業
細田 衛士	代表理事	東海大学 学長補佐 政治経済学部経済学科 教授、 中部大学 理事・名誉教授、慶應義塾大学 名誉教授
黒澤 秀雄	業務執行理事	公益財団法人自動車リサイクル高度化財団 事務局長
鬼沢 良子	理事	NPO 法人持続可能な社会をつくる元気ネット 理事長
嶋村 高士	理事	トヨタ自動車株式会社 環境エンジニアリング部 担当部長
梅田 靖	理事	東京大学大学院工学系研究科 人工物工学研究センター 教授
村上 進亮	理事	東京大学大学院 工学系研究科 技術経営戦略学専攻 教授
長岡 美奈	監事	長岡公認会計士・税理事務所

#### ② 会計監査人

協和監査法人(代表社員・公認会計士 高山 昌茂)

### (4) 従業員の状況

2026 年 3 月現在の従業員は、常勤理事 1 名、出向職員 2 名。

## 5. 決算日後に生じた法人の状況に関する重要な事実

特になし。

以上